AreaCopa

areacopa.com/ja/blog/shonen-sakka-hogosha-taio

少年サッカーの保護者対応チェックリスト

保護者会、応援ルール、話し合い

この資料はareacopa.comが提供しています。

チーム名 _____ シーズン _____ 指導者 _____

保護者会の議題

シーズン前の保護者会の流れです。時間は60〜90分とります。

- [ ] あいさつと自己紹介（5分）：どんな人か、なぜ指導をしているのか、どうすれば連絡がとれるか
- [ ] シーズンの目標と指導の方針（15分）
- [ ] 出場時間の分け方の約束、全員に同じ決まり（10分）
- [ ] サイドでの過ごし方（10分）：応援ルールを紹介し、全員で受け止めてもらう
- [ ] 運営の分担（15分）：配車、ユニフォームの洗濯、部費、日程、お茶当番を置くかどうか
- [ ] 連絡の方法（5分）：お知らせはLINEグループ、個人的な話は個別に
- [ ] 質問（10分）、大事な点は紙にして配る

保護者の応援ルール

会場に貼り、保護者会で全員にうなずいてもらいます。

- [ ] 応援する、自分の子だけでなく子どもたち全員を
- [ ] コーチングはしない：指示を出すのは指導者だけ
- [ ] 指導者の判断を尊重する
- [ ] 子どもの前で、試合中に批判しない、意見は個別に伝える
- [ ] 審判と相手チームに、敬意をもって接する
- [ ] 結果と子どもを切り離す

話し合いの4つの原則

それでも衝突したときのためです。

- [ ] 事実と気持ちを分け、先に心配を聞く
- [ ] 準備する：本当の争点は何か、要求の裏の関心は何か、自分は何を達成したいのか
- [ ] わたしメッセージで話す（事実・影響・お願いの3ステップ）
- [ ] 落ち着いた場を選ぶ：試合の直後、人前、LINEは避ける

クラブへの引き継ぎ

ここから先は、指導者1人の仕事ではありません。

- [ ] 個別の話し合いで結果が出ず、同じ行為が繰り返される
- [ ] 審判、子ども、指導者への暴言（暴言や暴力はJFAの暴力等根絶相談窓口にも相談できる）
- [ ] 衝突がチーム全体の雰囲気を壊している：少年団なら代表や団長、クラブなら代表や運営の責任者に入ってもらう

メモ